

## 一 自証無上道 大乘平等法の事

仰せに云はく、末法当今に於て大乘の平等法を証せる事日蓮等の類たぐいに限れり。されば此の経文は、教主釈尊法華經ごくりの極理を証して、番々に出世し玉ひて説きたまふなり。所詮此の自証と云ふは三十じょうどう成道の時を指すなり。其の故は教主釈尊は十九出家、三十成道なり。然る間自証無上道等と云へり。所詮此の品の意は十界皆成むねの旨を明かせり。然れば自証と云ふは十界を諸法実相の一仏ぞと説かれたり。地獄も餓鬼もことごと悉く無上大乗の妙法を証得したるなり。自は十界を指すなり。ほしいま悉に証すと云ふ事なり。権教は不平等の経なり。法華經は平等の経なり。今日蓮等の類は眞実自証無上道大乘平等法の行者なり。所謂南無妙法蓮華經の大乘平等法の広宣流布の時なり云云。